

# 公益社団法人日本ホッケー協会（JHA）

## 令和2年度 事業計画

Japan Hockey Road to 2030 ～東京 2020 レガシーでホッケーの新時代を創る～

東京 2020 オリンピック競技大会の開催は、世の中がスポーツに、そしてホッケーにもより注目するきっかけとなった。しかし東京 2020 オリンピック競技大会は始まりにすぎない。そのレガシーを活用して JHA は何ができるのかを考える必要がある。JHA として今後 10 年を見据えて「Japan Hockey Road to 2030」を策定し、今後 10 年の活動の基盤となる理念・ビジョンスローガンを再設定した

### JHA の理念

ホッケーを通じてスポーツ文化の振興に努め、豊かな社会形成に貢献する

### ビジョン

JHA は、ホッケーファミリーのつながりを大切にし、  
ホッケーファミリーの未来への活力を創造し、  
ホッケーファミリーの豊かさと楽しさの提供に努めます

### スローガン

Try all !! (for the hockey family)

全力で全員でやるべきことをやってみよう、やり尽くそう、  
挑戦あるのみ。それは未来のホッケーファミリーのため

### 基本指針

1. ホッケーを通じて楽しみ・感動を分かち合い、お互いに支え合えるような社会を実現することを目指す
  - ① ホッケーを通じて日本を元気にしていく
  - ② 社会に貢献する
2. 「ホッケーファミリー」の拡大に向けて行動する
  - ① ホッケーに何らかの形で関与する人々を「ホッケーファミリー」と定義  
「競技者のみならず、家族、指導者、地域、行政、教育機関、職場、観客、視聴者、ファン、スポンサー、メディア等ホッケーに何らかの関与をもつ人々」
  - ② 一人一人がホッケーファミリーのために行動する
  - ③ 社会に幅広く支持される組織・選択される競技となることで、結果としてホッケーファミリーが拡大することを目指す
3. 基本的な考え方を尊重する
  - 人の重視（「する」「みる」「ささえる」）
  - 連携・協働の推進による開放的な組織

- 未来志向でのアプローチ

JH Aは、この目的を達成するために、次の事業を行う。

東京 2020 オリンピックに向けた仕上げの時期での選手強化に注力する。また、競技役員の養成と共に JOC、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、東京都、品川区、大田区などとも協力し、オリンピックムーブメント活動を推進していく。

併せて、2021 年以降を見据えたホッケー競技の普及・発展に必要な財政基盤の確立に向けた活動と、スポーツガバナンスコードを強く意識した公正で適切な組織基盤の整備と運営に努める。

ホッケーファミリーにとっての新たな選択肢としてのインドアホッケーの開発や、ホッケーの魅力を幅広く世間に知ってもらう活動にも努める。

#### 1. ホッケー競技の国内競技大会の開催に関する事業

##### (1) 国内競技会

###### 1) 男子第 62 回・女子第 42 回全日本社会人ホッケー選手権大会

開催場所： 赤磐市熊山運動公園多目的広場（岡山：赤磐市）

岡山市瀬戸町江尻レストパーク（岡山:岡山市）

開催期間：決勝ラウンド 2020 年 11 月 6 日(金)～1 1 月 8 日(日)

###### 2) 第 69 回男子・第 42 回女子全日本学生ホッケー選手権大会

開催場所：大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 サウスピッチ（東京：大田区）、駒沢オリンピック公園総合運動場 第一球技場(東京：世田谷区) など

開催期間：2020 年 10 月 30 日（金）～11 月 3 日（火・祝）

※男女分散開催へ変更する可能性あり

###### 3) 第 94 回全日本男子ホッケー選手権大会

開催場所：赤磐市熊山運動公園多目的広場（岡山：赤磐市）

開催期間：2020 年 12 月 3 日（木）～12 月 6 日（日）

###### 4) 第 81 回全日本女子ホッケー選手権大会

開催場所：赤磐市熊山運動公園多目的広場（岡山：赤磐市）

開催期間：2020 年 12 月 4 日（金）～12 月 6 日（日）

###### 5) 第 52 回全国高等学校選抜ホッケー大会

開催場所：川崎重工ホッケースタジアム（岐阜：各務原市）

開催期間：2020年12月23日（水）～12月27日（日）

6)第42回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

開催場所：広島広域公園第2球技場・（広島：広島市）

開催期間：2020年12月26日（土）～12月28日（月）

7) 高円宮杯2020ホッケー日本リーグ

開催場所：大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場（東京：品川区・大田区）ほか 8会場

開催期間：2020年9月～2020年12月

8)次の大会は中止または延期となりました

①第39回全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦

開催場所：立命館O I Cフィールド（大阪：茨

木市）、グリーンランドみずほホッケー場（京都：京丹波町）

開催期間：2020年7月2日（木）～7月5日（日）

②男子第83回・女子第62回全国高等学校ホッケー選手権大会

開催場所：日光市ホッケー場・今市青少年スポーツセンターホッケー場・

日光市丸山公園サッカー場（栃木：日光市）

開催期間：2020年8月18日（火）～8月22日（土）

③第50回全日本中学生ホッケー選手権大会

開催場所：清水町総合運動公園多目的スポーツ広場・長泉町竹原グラウンド（静岡：清水町）

開催期間：2020年8月22日（土）～8月24日（月）

④第18回全日本マスターズホッケー大会

開催場所：野幌総合運動公園ホッケー場（北海道：野幌市）

開催期間：2020年9月5日（土）～9月6日（日）

⑤第75回国民体育大会ホッケー競技

開催場所：樋脇屋外人工芝ホッケー場・丸山自然公園ホッケー場（鹿児島：薩摩川内市）

開催期間：2020年10月8日（木）～10月12日（月）

※期間を変更して開始することを検討中

⑥第 21 回全日本中学生都道府県対抗 11 人制ホッケー選手権大会

開催場所：福井県立ホッケー場、越前町営朝日総合運動場（福井：丹生郡越前町）

開催期間：2020 年 11 月 7 日（土）～11 月 8 日（日）

⑦マスターズホッケーワールドカップ 2020 TOKYO

開催場所：大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場（東京：品川区、大田区）、駒沢オリンピック公園総合運動場第一球技場（東京：世田谷区）

開催期間：2020 年 11 月 5 日（木）～11 月 15 日（日）

※延期し、マスターズホッケーワールドカップ 2021 TOKYO として、  
2021 年 11 月 7 日（日）～11 月 17 日（水）に開催予定

(2) 登録

独自の登録システムを新たに構築し、国内のホッケー関係者（役員・選手）をスポーツ少年団から

マスターズまでの全カテゴリーにおける登録システムを順調に稼働させる。

各都道府県協会と密接に連絡をとりながら本協会事務局との連携を深め、一括データ管理を行い

業務改善を進めていく。

独自の登録システムをさらに充実させ、国内のホッケー関係者（役員・選手）にスポーツ少年団から

マスターズまでの全カテゴリーにおける登録を確実に行っていただく。

本協会事務局が各都道府県協会と密接に連絡をとりながら連携を深め、一括データ管理を行い

業務改善を進める。

(3) 競技規則の制定及びホッケー競技規則（ルールブック）の発行

国際ホッケー連盟（FIH）が制定する競技規則をもとに、国内用の規則を制定しており、これらの諸規程

をまとめた「ホッケー競技規則（ルールブック）」及び「競技運営規程」を 2 年に一度発行、配布を行っているが、現在は公式ホームページからもデータのダウンロード可能としている。

(4) 施設・用器具の検定及び公認

日本国内におけるホッケー競技発展の為、本協会の規定に定める要件を満たす人工芝競

技施設の公認制度を推進、また競技者の安全と快適なプレイを守る為、用器具の検定も実施する。

## 2. 競技役員の資格付与に関する事業

### (1) 審判員の資格付与

審判員については、本協会が定める「公認審判員規程」に則り、A級、B級、C級審判員資格を付与している。また本協会は、国際ホッケー連盟 (FIH) やアジアホッケー連盟 (AHF) の加盟団体として、相応しいレベルに達した審判員を国際審判員にする為に積極的に国際大会等へ派遣したりチームに帯同させたりしている。

### (2) 競技役員の資格付与

競技役員については、本協会が定める「公認テクニカルデリゲート (TD)、テクニカルオフィサー (TO)、ジャッジ (J) 規程」に則り、資格を付与している。また国際ホッケー連盟 (FIH) やアジアホッケー連盟 (AHF) の加盟団体として、相応しいレベルに達したオフィシャルを積極的に国際大会等に派遣している。

#### 【審判員・競技役員の資格付与に関する取り組み】

- 審判講習会及び研修会を実施し、審判員の養成と審判技術の向上を図る。
- 資格審査室を設置して、公認テクニカルデリゲート (TD)、テクニカルオフィサー (TO)、ジャッジ (J)、A級、B級、C級審判員の資格認定を行う。  
また、国内競技大会開催中に不測の事態が発生した場合、その関係者の資格についても審議する。
- 国際競技大会への審判員、競技役員の派遣業務を円滑に進めるためにも、語学力のある人材の発掘・育成を計画的に推進する。
- オリンピック、ワールドカップ、プロリーグ等の国際競技大会を視野に入れた国際レベルの審判員と競技役員の養成と充実を図る。  
「2020 東京オリンピック」に審判員 1 名、競技役員 1 名を派遣することが決定した。  
継続して派遣できるよう国際交流を積極的に行い、主要国際大会への派遣に努める。
- 女性の審判員及び競技役員の養成と育成を図る。特に女性審判員の養成は最重要課題である。
- 海外との審判員交流を図り、国内の審判員の技術向上と国際視野に立った審判員を育てる事業を推進する。
- 他競技団体との連携を密にし、他競技の有効なシステムを取り入れ、審判員と競技役員の組織活性化を図ると共に資質の向上を目指すプログラムを推進する。

## 3. ホッケー競技の普及、指導者の育成に関する事業【公1】

(1) コーチ3養成講習会／専門科目講習会（ホッケー競技）

主催：公益財団法人日本スポーツ協会、公益社団法人日本ホッケー協会

開催場所：未定

開催期間：未定

目的；地域において、競技者育成のための指導にあたるとともに、広域スポーツセンター及び各競技別トレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる者を養成する。

(2) 公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会（ホッケー競技）

主催：公益財団法人日本スポーツ協会、公益社団法人日本ホッケー協会

開催場所：未定

開催期間：未定

目的：ホッケー競技指導者の養成にあたり、全国各地の指導者が一貫指導システムを理解し、中央と地域のネットワークを構築するために必要となる競技別インストラクター（講師）となりうる人を対象とした研修会

(3) 指導教本の販売

名称：ホッケー指導教本／発行日：2013年8月29日（改訂版）

販売単価：1部につき2,000円

目的：各年代の発育段階に応じた適切な指導方法を普及させる

【ホッケー競技の普及に関する取り組み】

- 各ブロック協会（北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州）との連携により、中長期的な視野に立った根本的な普及策を模索、検討し、その上で必要な施策を実施する。
- 小学生など幼少期からホッケーに出会えるようなホッケー体験会、オリンピックの派遣などの事業を国内で広く展開する。夢見るスポーツ教室、スポーツ大会をブロックで開催する。
- U-12ホッケードリームキャンプを開催し、小学生に夢を与える取り組みを実践する。
- （公財）全国中学校体育連盟への加盟推進やスポーツ拠点づくり推進事業の継続支援を通じて、中学校世代の更なる普及と発展を図る。また、全国大会及び予選大会を通じて、「マウスガードの義務化」を行うなど、成長期の生徒達に対する安全面への配慮について継続した取り組みを行う。
- 国体参加チームの登録選手数が適切な数となるよう、（公財）日本スポーツ協会と協議するとともに、連携を図る。
- マスターズ年代の諸活動を充実させることで、生涯スポーツとしての方向性を確立する

と共に、地域におけるマスターズ活動の活性化を図る。マスターズ11人制大会の実施、普及を図る。

- 各都道府県協会と協働して、総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、発展的な普及活動を模索する。

#### 【指導者育成に関する取り組み】

- スポーツ少年団の活動指針である「発育と発達」に基づく指導を呼び掛け、ホッケーの楽しさを子ども達に伝える。
- 公認指導者講習会を実施し、指導者の養成と指導技術の向上を図る。また、既資格取得者の資格更新システムを確立し、指導者が常に学ぶことの出来る機会を構築する。
- 国民体育大会をはじめ、(公社)日本ホッケー協会主催大会へ出場するチーム指導者への公認指導資格の義務付けを厳守させる。その為に、各都道府県で受講出来るよう、コーチ1及びコーチ2資格取得養成講習会の開催促進に取り組む。
- 一貫指導者教本に基づいた正しい指導を広く実践する。また、有資格指導者を組織化し、指導に関する情報を共有できる機能を整備する。
- U-21までの指導体系を確立させ、シニア代表への意欲を持たせる。
- U-21までの海外派遣の機会を効果的に行い、「パリ2024オリンピック」を見据えた選手強化に併せて、海外における指導情報の収集を図る。

#### 4. ホッケー競技の競技力向上に関する事業、並びに国際競技大会の代表者選定及び派遣に関する事業

##### (1) 選手強化

##### ■競技者支援

(独)日本スポーツ振興センター「アスリート助成」を受け、対象競技者に向けた財政支援を行う。

- 強化合宿、海外遠征 についてはアンダーラインのあるもの以外は検討中

国内強化合宿(サムライジャパン) / 年10回予定、 国内強化合宿(さくらジャパン) / 年13回予定

国内強化合宿(U21男子) / 年4回予定、 国内強化合宿(U21女子) / 年2回予定

国内強化合宿(U18男子) / 年3回予定、 国内強化合宿(U18女子) / 年3回予定

海外遠征・招聘(サムライジャパン) / 年1回予定、 海外遠征・招聘(さくらジャパン) / 年1

回予定

海外遠征(U21男子) / 年3回予定、 海外遠征(U21女子) / 年1回予定

海外遠征(U18男子) / 年1回予定、(U18女子) / 年1回予定

日韓競技力向上スポーツ交流(U18男子・女子) / 2020年度の男子受入事業、女子派遣事業は、中止決定

海外遠征 (U-16 男子・女子) / 海外遠征は中止の方向→代替案として大井オリンピック  
スタジアムで強化合宿・東西オールスター戦を実施予定

(2) 国際競技大会への代表参加者選定及び派遣

【男子】

アズランシャーカップ(ムラジャハン) / 開催国：マレーシア

当初開催予定 2020 年 4 月 7 日～19 日を延期、開催時期未定

ジュニアアジアカップ大会 (U21 男子) / 開催国：バングラデシュ

当初開催予定 2020 年 6 月 4 日～12 日を延期、開催時期未定

ジョホールカップ大会 (U21 男子) / 開催国：マレーシア

当初開催予定 2020 年 10 月～11 月の間の 14 日間を延期、開催時期未定

ヨーロッパ遠征 (U18 男子) / 開催国：未定

開催期間：未定

【女子】

アジアチャンピオンズトロフィ (さくらジャハン) / 開催国：韓国

当初開催予定 2020 年 6 月 14 日～21 日を延期、開催時期未定

ジュニアアジアカップ (U21 女子) / 開催国：日本・岐阜

当初開催予定 2020 年 4 月 6 日～12 日を延期、開催時期未定

ヨーロッパ遠征 (U18 女子) / 開催国：未定

開催期間：未定

【男・女】

オーストラリア遠征 (U16 男・女) / 開催国：オーストラリア

開催期間：2020 年 11 月下旬

(3) 医科学サポート

1) 国際競技大会や国内主要競技大会、各種強化合宿においてドクターやトレーナーを派遣、

またドーピング検査を実施する。

2) (公財) 日本アンチドーピング機構発行の冊子を与え、啓蒙活動を行う。

【ホッケー競技の競技力の向上に関する取り組み】

■男女 U21、U18、ジュニア、ユース、ジュニアユース日本代表を恒常的に編成し、年代別一貫指導強化体制の下に、「東京 2020 オリンピック」においてメダル獲得を念頭に入れた



積極的な強化活動を実施し、国際競技力向上に繋げる。

- 一貫指導システムの拡充の為、ターゲットエイジ構想をさらに進展していく。
- スポーツ基本法を具体化した、国立スポーツ科学センター（JISS）の、ジュニア期からトップレベルに至るまでの発掘・育成・強化に対するスポーツ医・科学・情報面からの高度な支援、国際競技大会におけるコンディショニング調整など効果的に JISS の指導を受け、内外の情報分析と医科学的見地を取り入れた代表チーム・選手個々人の競技力向上を図る。
- （公財）日本アンチドーピング機構（JADA）及び国際ホッケー連盟（FIH）と緊密に連絡を取り、アンチドーピングの周知徹底を図り、居場所情報や合宿時における講習会等を実施して、選手指導者に協力と義務を認識させる。
- （公財）日本アンチドーピング機構（JADA）の指導の下、国内における国際大会並びに国内主要大会においてドーピング検査を実施する。指導者にドーピング検査への協力徹底と、国内のドーピングコントロールオフィサー（DCO）の養成を図る。

## 5. 広報活動

### （1）メールマガジン

名称：「ホッケーデジタルメールマガジン」

2020 年度より、JHA ホームページの速報性や内容の向上充実、イヤーブックの認知等に  
伴い、

また経費節減も踏まえ、毎月発行から年 4 回、四半期ごとの発信・発行としていたが、  
本年度の JHA 各種別主催大会が中止もしくは延期となったため発信は一旦中断、今後の日程  
に合わせ新たな発信時期を決定する予定。

目的：各種大会結果や代表チームの活動状況など、本協会競技推進事業の情報を発信  
する。

### （2）イヤーブック

名称：「ホッケーマガジン・イヤーブック」/毎年 1 回、6 月初旬発行

（今年度は大会・総会等延期のため 8 月 1 日発行とする）

販売単価：2, 200 円(税込)

目的:年度における JHA 主催の大会全記録、並びに本協会事業の各種情報を詳細に掲載。

JHA の競技記録資料、並びに各都道府県協会への配布、各種メディア・スポン  
サーへの紹

介資料として使用する。

### 【広報活動に関する取り組み】

- 現状、ホッケー情報は JHA のホームページをメインに発信しており、内容・速報性・SNS

の活用面など、特に問題なく配信できていると考えている。また本年はオリンピック開催に向け特別ページの開設を行う予定だったが延期により来年度に行うこととした。

- JHA ホームページについて、広告募集の推進、地域活動情報のページの新設を図る。また動画については、今年度も JHA 主催全大会の配信を実施する。
- 本年のオリンピック、そしてその後に向けて、機能的な広報活動を進めるため、情報のデータベース化  
より一層進める。
- メディア対応をより良く進めるため、取材等に対する広報委員の増員など対応体制を整備する。
- ホッケーマガジン・イヤーズブックの拡販に努める。

## 6. 東京 2020 オリンピック準備関係

延期になった東京オリンピック・ホッケー競技においては NF として担当する各種サポートを計画どおり実施する。オリンピック開催向け開催地東京でのイベントの検討・実施等オリンピックムーブメントの推進に取り組む。また東京オリンピックを契機にオリンピック後の日本のホッケーの環境をより良くすることをめざし、東京オリンピックの会場となる大井ホッケー競技場に関係する諸テーマに関して東京都、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、品川区、大田区、東京都ホッケー協会等関係諸団体との連携を図り取り組む。

## 7. 国際活動

### 【国際活動に関わる取り組み】

- 日本のホッケー強化と国内における普及を目指し、国際ホッケー連盟 (FIH) 及びアジアホッケー連盟 (AHF) と連携しながら国際活動を行う。両連盟の企画するイベントには出来る限り参加をし、協力する。
- 国際ホッケー連盟 (FIH) 及びアジアホッケー連盟 (AHF) 並びに各国ホッケー協会と連携して情報交換し、大会参加を通じて海外と積極的に交流活動を行う。
- 国際ホッケー連盟 (FIH) 及びアジアホッケー連盟 (AHF) と密接な連絡を取ると共に、国際会議や国際競技大会等に参加し、最新の国際情報を取得する。
- 国際ホッケー連盟 (FIH) 及びアジアホッケー連盟 (AHF) との更なる連携強化のため、ロビー活動を  
積極的に行うことで競技役員として主要な国際大会で活躍出来る人材の登用と育成を図る。
- 日本代表チーム等の国際競技大会、海外遠征の支援活動（連絡や交渉、情報収集）を行う。また、招聘情報を関連団体に提供する。
- 海外代表チーム等の日本への招聘事業に関しては、強化本部との協力の下に行う。

- 日本国内における国際競技大会開催時に現地実行委員会、本協会事務局と共に、中心的な役割を果たす。
- (公財) 日本オリンピック委員会等が主催する国際関係会議に参加する。

## 8. マーケティング

ホッケー競技の強化および、普及・育成事業を十分に実施できる強固な財政基盤確立のための活動を実施する。特に、延期となったため、パートナーとなるスポンサーやサブライヤーとの間でスポンサー離れが起こらないよう十分にケアし、価値共有の実践、長期安定的な関係を構築すべく取り組む。

合わせて既存のパートナーとの関係の深化、新規のパートナーの獲得に挑戦する。

### 【マーケティングに関する取り組み】

- 中長期の関係性を維持するための更なる人間関係の構築
- パートナー各社のニーズの把握と、新しい形のスポンサーシップ・パートナーシップの構築
- (上位スポンサーを中心に) 定期的なスポンサーミーティングの実施や、感謝の会の継続開催

## 9. 総務・財務に関する事業

(1) ホッケーに関わる人一人一人がより高い倫理観に従って行動し、コンプライアンスを高める。

- ① コンプライアンスの推進に関する基本方針を確立する。
- ② 選手、役員等のコンプライアンス研修会を積極的に開催する。
- ③ 関係団体においても、コンプライアンスの重要性を伝えていく。
- ④ インテグリティ・アンチドーピング教育を充実する。
- ⑤ 日本ユニセフ協会が提唱する「子どもの権利とスポーツの原則」の賛同式を行い、子どもの成長を応援する取り組みを実践する。

(2) JHAの組織運営にガバナンスを行き届かせる。

- ① 事業運営や決定の透明性を図り、マネジメント機能の強化を図る。
- ② 諸規程に基づいた決裁権限を遵守することを徹底する。
- ③ 事業実施はすべて決裁を受けてから行うことを意識づけ、徹底する。

(3) 財務規律を確立し健全な協会運営を図る

- ① 予算制度に基づいた業務執行を浸透させ、徹底する
- ② 計画的な事業執行を行い、運転資金や余裕資金を確保する
- ③ 中長期財務計画を立て、財務状況の安定化を図る。

(4) スポーツ庁のスポーツ指針を尊重し、実行する

①東京 2020 オリンピック、普及活動に向け、JOC や JSC からの補助金を、効果的に活用する。

②JOC の方針を確実に受け止めて JHA として実行し、実現させる

- ・ガバナンスコード適合性審査に向けた組織のあり方を検討していく。
- ・環境保護への取り組みを周知し、JHA 主催、後援等かかわりのある大会のプログラムに

JOC 環境ポスターのページをとってもらう

- ・選手が安心して競技に取り組める環境づくりに取り組む  
(賭博、八百長、覚せい剤等から選手を遠ざける)  
(JOC のコーチ育成施策を活用する)

(5) スポーツ少年団、中学生ホッケー大会の開催、支援を通じて日本のホッケー界の裾野を広げ、ホッケー人口が増えるよう取り組む

(6) サイバーセキュリティー対策に取り組む。

(7) SEM制度により、適切に国際親善試合を開催する。さらに、地方に広めて行く。

(8) 既存協賛企業以外のスポンサー開拓に取り組む、取り組める人材を確保する。

10 (公社) 日本ホッケー協会諸会議

令和2年度総会・理事会の開催日程

(1) 定時総会

開催場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE (新宿区)

開催日程：8月1日(土) 午後1時～

(2) 理事会

開催場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE (新宿区) など

開催日程：年5回開催